

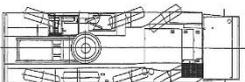
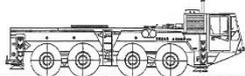
お詫びと訂正のお願い

この度は「特殊車テキスト 基礎編」をご購入いただきまして、ありがとうございました。
特殊車テキスト 基礎編（平成30年8月1日10刷）P25に印刷の乱れがありました。
まことに申し訳ございませんが、該当箇所（□部）を訂正いたしましたので差替えをお願いいたします。

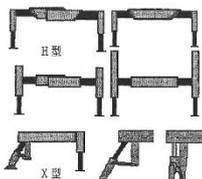
【トラッククレーンの構造】

トラッククレーンの構造は、下部走行体、上部旋回体、作業装置の3つに大別される。

① 下部走行体には、一般的な操舵装置を設けている。トラッククレーンには、つり上げ許容荷重に応じホイールクレーンやラフテレーンクレーンなどのように専用のフレームで構成され大型タイヤを装備し全輪駆動式による機動性をも考慮した操舵方式を持たせたものもある。



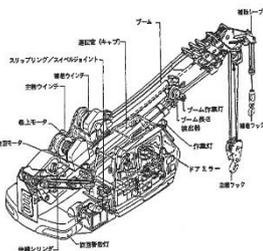
また、下部走行体にはクレーン作業時の機体を支え、安全を保つためのアウトリガ装置が備えられている。



次にエンジンについては下部走行体に取り付けられ走行用エンジンとして使用されると共に油圧式においては油圧ポンプを駆動し動力を取り出している。なお、クレーンの大きさによっては別に作業用エンジンを下部走行体あるいは上部旋回体部分に備えているものもある。



② 上部旋回体は下部走行体の上に旋回ギヤを介して取付けられており、巻上げ装置、ブーム起伏装置、旋回装置、操作装置（オペレータ室）、カウンタウエイトなどが装備されている。



キリトリ

次にエンジンについては下部走行体に取り付けられ走行用エンジンとして使用されると共に油圧式においては油圧ポンプを駆動し動力を取り出している。なお、クレーンの大きさによっては別に作業用エンジンを下部走行体あるいは上部旋回体部分に備えているものもある。